

授業科目名 <英訳>		臨床研究特論 I Clinical research advanced I				担当者所属・ 職名・氏名		環境安全保健機構 教授 川村 孝			
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2017・ 後期前半	曜時限	月 6	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】											
<p>(1) 臨床研究計画法I・IIで履修した研究方法について掘り下げる。</p> <p>(2) 学生から臨床研究の計画・実施・利用に関する疑問点を提示し、教員と学生がいっしょに検討する。</p> <p>(3) 教員から臨床研究の計画・実施・利用に関する諸問題を提示し、学生が検討する。</p>											
【到達目標】											
各種研究方法について、その背景や考え方、利用の仕方や限界などについて研究事例を通して深く理解する。											
【授業計画と内容】											
<p>(1) 用量反応関係の過小評価（誤分類と回帰希釈）</p> <p>(2) RCTにおけるP値（サンプルサイズ）</p> <p>(3) RCTによる副作用の検証（ITT解析その他）</p> <p>(4) 診断研究における感度（患者スペクトル）</p> <p>(5) 統計学的有意と臨床的有意</p> <p>(6) 多変量解析の特性（関数モデル）</p> <p>(7) メタアナリシスの特性</p> <p>(8) 図表の作り方、論文の書き方</p>											
【履修要件】											
・MCRコース限定（選択）											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
・意見発表の積極性、説明の明快さ											
【教科書】											
使用しない											
【参考書等】											
<p>（参考書）</p> <p>川村 孝 『臨床研究の教科書：研究デザインとデータ処理のポイント』（医学書院）（臨床研究のデザイン、運営、解析、論文執筆の方法論とコツを解説）</p> <p>川村 孝 『エビデンスをつくる：陥りやすい臨床研究のピットフォール』（医学書院）（臨床研究のデザインや解析の失敗談とその対策を紹介）</p> <p>Hulleyら 『医学的研究のデザイン』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）</p> <p>Motulsky 『数学いらずの医科統計学』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）</p> <p>Kats 『医学的研究のための多変量解析』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）</p>											
----- 臨床研究特論 I(2)へ続く -----											

臨床研究特論 Ⅰ(2)

[授業外学習(予習・復習)等]

・自らの研究を行うだけでなく、指導者や同僚の研究を積極的に手伝う。

(その他(オフィスアワー等))

臨床研究特論Ⅱと連携する。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。